種名	モ　　ズ Lanius bucephalus
分類	スズメ目モズ科
特徴	鋭いくちばしを持ち、はやにえを作る小形の猛禽。ユーラシア大陸東部の中国東北部、サハリンなどで繁殖する。日本でも北海道から九州までの全国に広く分布し、繁殖する。北日本のものは冬期は暖地へ移動する。オスの方が、寒地に留まる傾向が強いことが知られている。
生活	集落や農耕地の周辺、川原、林縁など低木のある開けた環境に棲息する。木の枝や杭などにとまって地上を見張り、昆虫やムカデ、カエルなどの小動物を見つけ舞い下りてくちばしで捕まえる。捕まえた動物を鉄条網や木の刺、小枝に指しておく習性があり、モズのはやにえと呼ばれる。はやにえは繁殖期にも作られるが秋にもっとも目立ち、後日それを食べることは観察によって確認されている。
声	繁殖期には大きな声で鳴くことは少なく、「ジュンジュンジュン、チュピリリ、ジュン、チィチリリ」などと小声で複雑なぐせりをする。秋期には木の梢などで「キィーキィーキィーキキキッ、キィーキィー」と高鳴きをする、地鳴きは「キィー」「キキッ」「ジュン」など。なお、他の鳥の鳴きまねもする。
見分け方	オスでは黒い過眼線、翼の白斑、メスでは茶色い過眼線、波模様のなる下面が特徴。
時期	(月)　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11　12
その他	全長 (L) 20cm　翼開長 (W) 27cm 産卵期は 3～8 月

参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥